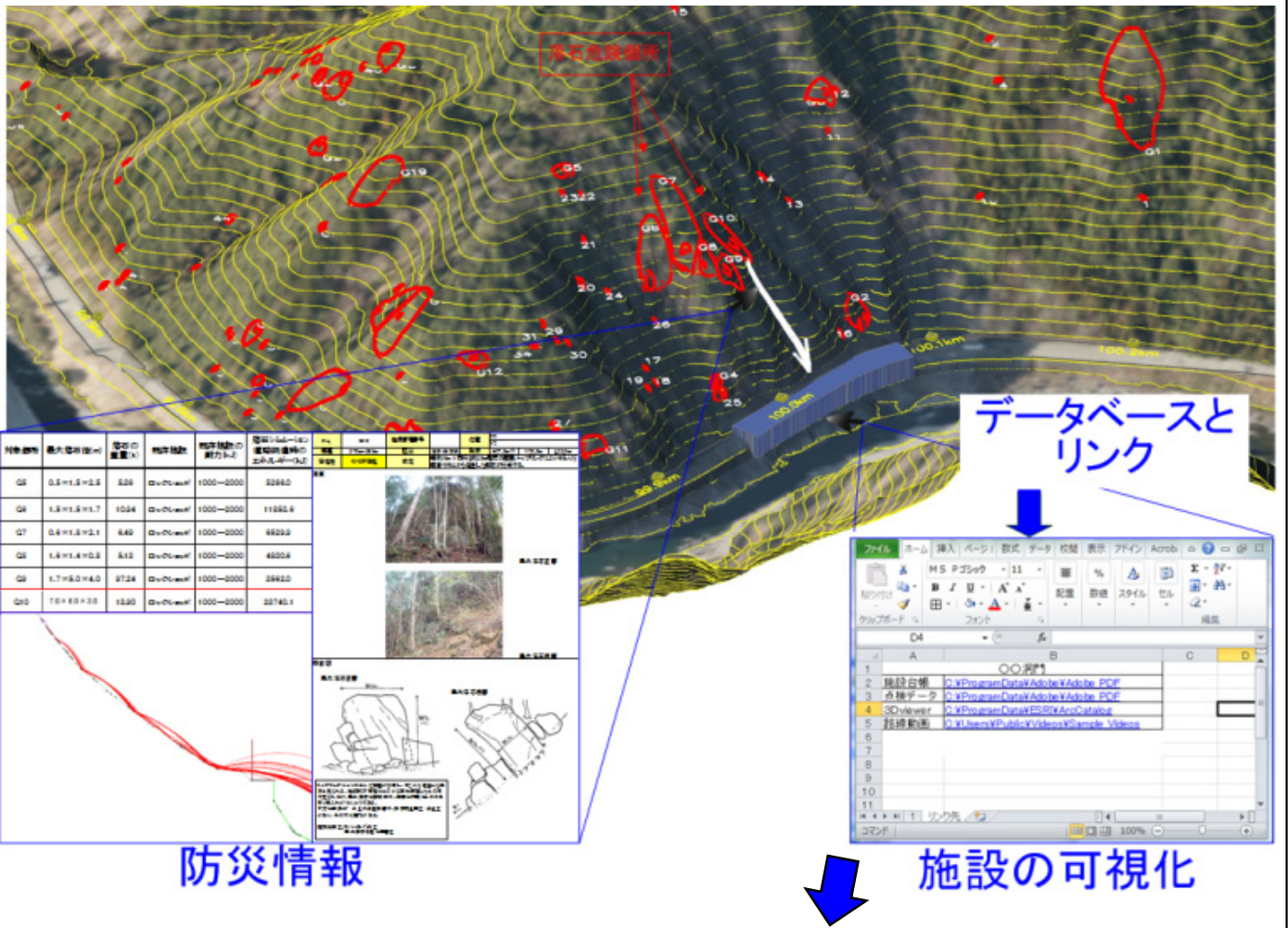


## 技術概要書（様式）

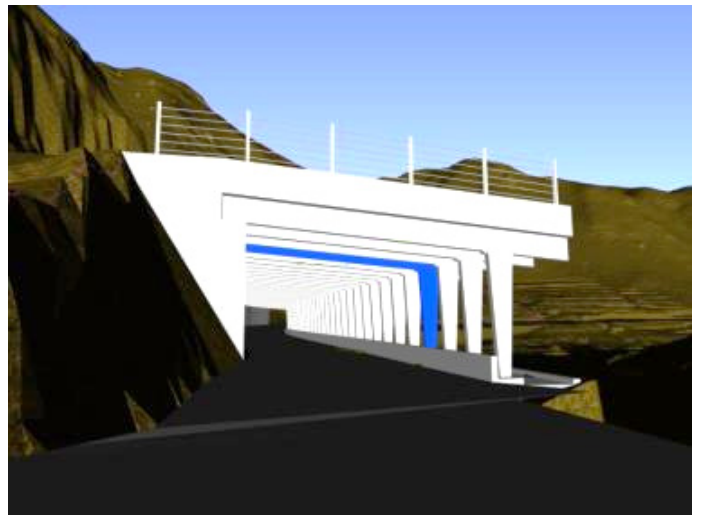
※別紙2

技術分類	安全 <input checked="" type="radio"/> 防災 環境 コスト ICT 品質 <span style="color: red;">（該当する分類に○を付けてください）</span>																				
技術名称	防災CIM	担当部署	九州支社																		
NETIS登録番号	—	担当者	岩崎 芳昭																		
社名等	中央復建コンサルタンツ株式会社	電話番号	092-282-0441																		
技術の概要	<p>1. 技術開発の背景及び契機</p> <p>道路防災点検をはじめとする防災事業では、カルテによる点検を毎年更新し、変状の進展などを把握し、対策が必要な箇所では工事が進められています。これらの結果を一元管理するシステムはまだないのが現状であり、維持管理上大きな課題となっています。一方、建設生産に係る、計画から維持管理に至るライフサイクル全体（計画、調査、設計、施工、維持管理）でCIMモデルを活用することが進められ、この三次元モデルに、仕様、コスト、点検記録などの属性情報を持たせたCIMモデルを構築し、それを関係者が共有することで生産性を向上することが可能となります。以上より、防災に関する課題とCIMモデルの活用を融合させた防災CIMを構築することは意義高いと考えます。</p> <p>2. 技術の内容</p> <p>道路における防災事業では、落石や法面崩壊など、見えない場所に原因が潜んでいます。これらの危険性を3次元可視化することにより、どこがどの程度危険かを明示するとともに、道路防災点検や施設点検などの点検結果やデータベースと紐付け、施設の耐力やシミュレーションの結果などをわかりやすく表現します。3次元データとして、地形や災害要因のほか、道路施設などもモデル化し、情報の集合体を3次元モデルで構築し、活用できます。</p> <p>3. 技術の効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災点検結果や危険度評価の可視化が可能となります。</li> <li>・設計・施工・既存の防災施設に関する設計情報の追加を行うことができます。</li> <li>・地形や災害履歴、カルテ箇所のデータ、対策工設計、施工、などを3次元的に確認することができます。</li> <li>・どこがどの程度危険であるか、どうすればよいかを一目で理解することができます。</li> <li>・データの更新が非常に容易で、維持管理に効果を発揮します。</li> </ul> <p>4. 技術の適用範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路法面における斜面崩壊、落石、土石流対策など</li> <li>・道路施設の老朽化検討など</li> <li>・施工出来高確認など</li> </ul> <p>5. 活用実績</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">国の機関</td> <td style="padding-right: 10px;">0 件</td> <td style="padding-right: 10px;">（九州</td> <td style="padding-right: 10px;">0件</td> <td style="padding-right: 10px;">、九州以外</td> <td>1件）</td> </tr> <tr> <td>自治体</td> <td>0 件</td> <td>（九州</td> <td>0件</td> <td>、九州以外</td> <td>0件）</td> </tr> <tr> <td>民間</td> <td>0 件</td> <td>（九州</td> <td>0件</td> <td>、九州以外</td> <td>0件）</td> </tr> </table>			国の機関	0 件	（九州	0件	、九州以外	1件）	自治体	0 件	（九州	0件	、九州以外	0件）	民間	0 件	（九州	0件	、九州以外	0件）
国の機関	0 件	（九州	0件	、九州以外	1件）																
自治体	0 件	（九州	0件	、九州以外	0件）																
民間	0 件	（九州	0件	、九州以外	0件）																

6. 写真・図・表



実際の構造物の写真



構造物の3次元モデル化  
※損傷部位の把握(青色箇所)